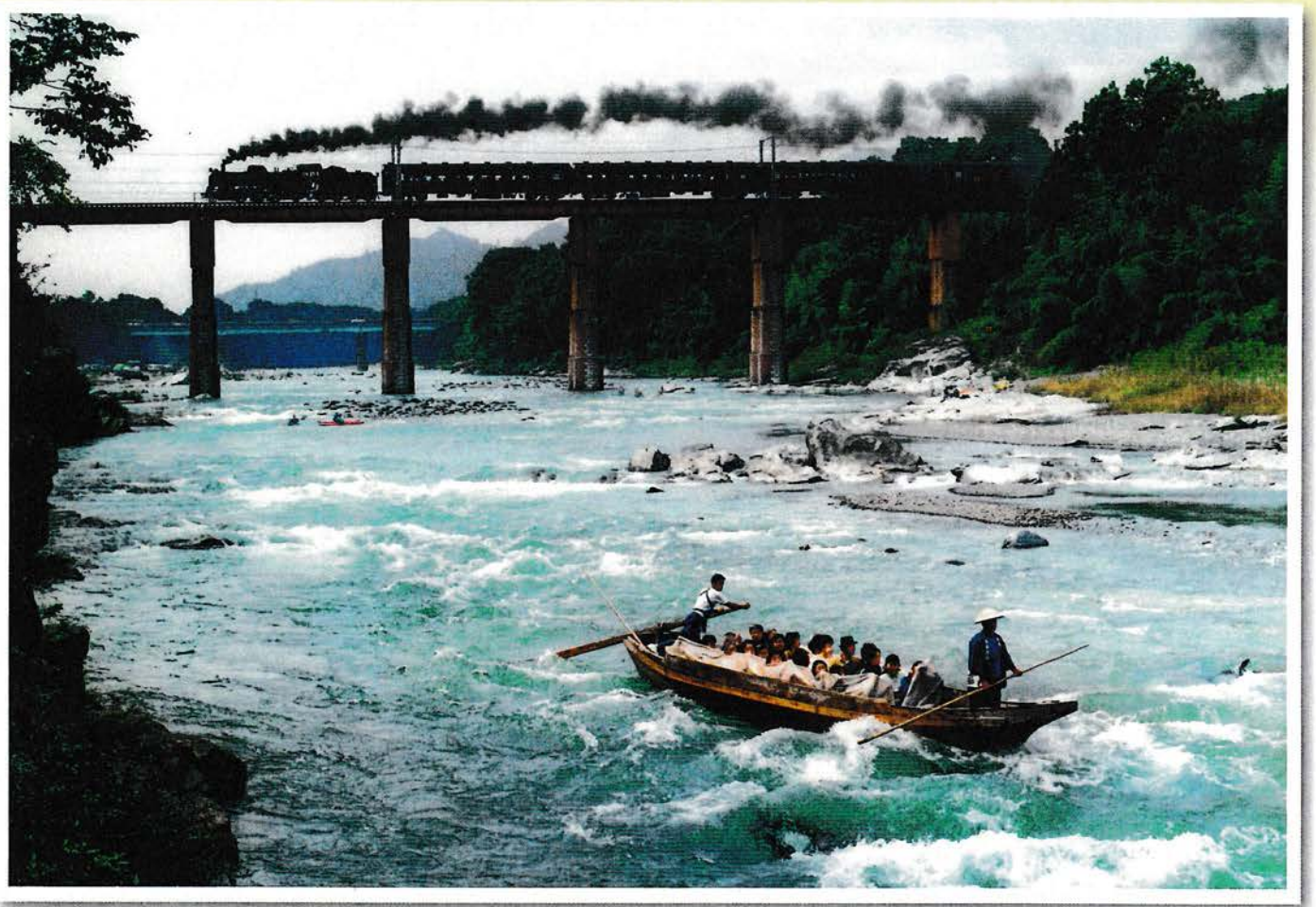




第62回 全日本中学校長会研究協議会

埼玉大会



平成23年10月26日・27日・28日 さいたま市

大会日程

第1日 10月26日 (水)

11:00	11:30	13:50	14:00	17:00	18:00	20:00
受付	全日中 常任理事会	受付	全日中 理事会		レセプション	
	12:30	13:00	14:30	14:30	15:00	17:00
	受付	全体協議会 運営委員会		受付	分科会 運営委員会	

第2日 10月27日 (木)

時程	行事	実施内容	時間
8:45	受付	会場準備完了、各係配置完了 受付名簿照合 資料配付 開会式準備完了	40分
9:30	開会式	1 開式のことば 2 国歌斉唱 3 あいさつ 大会実行委員長 大会会長 4 祝辞 文部科学大臣 埼玉県知事 埼玉県教育委員会教育長 さいたま市長 さいたま市教育委員会教育長 5 来賓紹介 6 閉式のことば	45分
10:15	準備	(来賓、主催者等降壇)	10分
10:25 11:15	行政説明	文部科学省説明	50分
11:20	全体協議会	1 開会のことば 2 議長団あいさつ 3 全体協議 (1) 第1協議題(全日中) (2) 第2協議題(九州) 4 宣言決議の提案 5 閉会のことば	55分
12:15	移動 昼食	諸連絡・昼食渡し 各分科会場へ移動	90分
13:45	分科会	1 開会のことば、係紹介 2 司会者あいさつ 3 日程説明 4 研究発表 5 研究協議 6 まとめ 7 司会者あいさつ 8 閉会のことば	180分
16:45			

第3日 10月28日 (金)

時程	行事	実施内容	時間
8:45	受付	会場準備完了、各係配置完了 受付 分科会速報配付 宣言・決議(案)配付 準備でき次第、屋台囃子演奏	30分
9:15			
9:20 9:50	アトラクション	秩父屋台囃子 小鹿野歌舞伎	30分
	準備		10分
10:00	全体会	1 議長団あいさつ 2 協議 ・大会宣言決議 ・その他 3 議長団あいさつ	20分
10:20	準備		10分
10:30 12:00	記念講演	1 講師紹介 2 講演 3 花束贈呈	90分
	準備		5分
12:05	閉会式	1 開式のことば 2 あいさつ ・大会会長 ・大会実行委員長 ・次期開催地代表(大阪府) 3 閉式のことば	25分
12:30	終了	諸連絡 散会	

あいさつ



第62回全日本中学校長会研究協議会埼玉大会会長

全日本中学校長会会長 大江 近

第62回全日本中学校長会研究協議会埼玉大会が、「生きる力と絆の教育 彩の国 埼玉から」を合言葉に、「みどり 花 いっぱい」の埼玉県さいたま市で開催されますことを心からお慶び申し上げます。

本大会の開催準備をすすめてこられました、第62回全日本中学校長会研究協議会埼玉大会実行委員長 埼玉県中学校長会長の松澤勇治校長先生をはじめ埼玉県中学校長会の皆様、関東甲信越地区中学校長会の皆様に心から敬意を表しますとともに、ご支援を賜りました埼玉県及び埼玉県教育委員会、さいたま市及びさいたま市教育委員会の皆様、多くの関係者の皆様に深く感謝を申し上げます。

本大会は、「未来を切り拓く豊かな人間性と創造性を備えた日本人を育てる中学校教育」を研究協議会主題とし、学校運営にかかわる課題から教育課程実施にかかわる課題まで幅広く協議をするとともに、文部科学省の行政説明も予定しております。

中央教育審議会をはじめ教育改善に関する諸会議も再開され、6月ころから数回にわたり今日的な教育課題について審議が繰り返されてまいりました。「教員の人材確保と資質の向上」「管理職の人材育成」「地域との連携を密にした学校運営」など学校経営を取り巻く課題が山積しています。具体的な検討が進められているなかで、私は、学力の向上においても教員の資質向上においても、知識・技術のアプローチとそれらを支える力のアプローチの双方向からの研究・実践が不可欠であると考えます。教育という営みは人間としての価値を育成することであり、生徒に対する教育も教員の資質の向上についても単なる知識・技術の指導にとどまらずそれを支える力である「器（うつわ）」もしっかり創るという取組が必要なのだろうと思います。

全日本中学校長会は、平成21年10月の福島大会において全日中教育ビジョン「学校からの教育改革」を公表し、平成22年10月には高知大会において全日中教育ビジョンに基づく実践と課題について情報交換をしたところです。全日中教育ビジョン3年目を迎える今年度は、さらにこれまでの実践から課題と今後の方策について掘り下げる時期に来ていると思います。埼玉大会の協議が「教育改革を目指す全日中」をリードし全日中教育ビジョンの達成につながることを確信いたしております。

来年度は中学校学習指導要領の全面実施の年であります。生徒に生きる力をはぐくむことを目指し、創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開する中で基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決するための能力の育成が求められております。各学校においては、それらの趣旨を踏まえ、教職員の資質向上や教育環境・条件の整備、教育内容の充実、教育成果の検証・改善に学校経営の観点から取り組まなければなりません。

本大会において先進的な改革案が提案され具現されることを期待するとともに、全国の校長先生方が教育の実践的専門家としてお力を発揮され国家社会の発展に寄与されることを期待いたします。

最後になりましたが、本年3月の東日本大震災でお亡くなりになった多くの方々に心から哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げますとともに、多くの被災者やその関係者に衷心よりお見舞いを申し上げ、全日本中学校長会として今後とも支援を継続することをお誓いし挨拶といたします。



第62回全日本中学校長会研究協議会埼玉大会実行委員長

埼玉県中学校長会会長 松澤 勇治

全国各地からお集まりいただきました会員の皆様、ようこそ「彩の国」埼玉にお越しくださいました。心から歓迎申し上げます。

第62回全日本中学校長会研究協議会埼玉大会が、関東甲信越地区中学校長会研究協議会を兼ねて、全国からご参集いただきました会員の皆様とともに開催できますことは、この上ない光栄であり、大きな喜びであります。

本大会は、「生きる力と絆の教育 彩の国 埼玉から」を大会のスローガンに掲げ、一昨年、の福島大会、そして昨年、の高知大会に引き続き、研究協議会主題を「未来を切り拓く豊かな人間性と創造性を備えた日本人を育てる中学校教育」とし、3年目のまとめの大会として開催する運びとなりました。

今日、我が国は少子高齢化・高度情報化・国際化など社会の急激な変化の中にあって、着実に変革を遂げようとしています。教育界においても、教育基本法が60年ぶりに改正されるとともに学校教育法等関係法令も整備され、それらを踏まえて改訂されたこのたびの学習指導要領も、いよいよ来年度から全面実施となります。改訂の趣旨を踏まえ、適切な教育課程の編成・実施・評価を通して、生徒が自ら考え、進んで行動できる自立した個人として、心豊かにたくましく生き抜いていく基礎となる力の育成を図っていく必要があります。

急激な社会の変化の中にあって、学校教育を取り巻く諸課題は多様化・複雑化しており、目の前の一つ一つの課題をしっかりと見据え、堅実な教育の取組が一層求められています。そうした中、私たち校長は、学校教育の責任者としての使命感と確固たる教育信念を持ち、その解決に向けて力強くリーダーシップを発揮しなければなりません。保護者に信頼され、地域に誇れる学校の創造は、まさに校長の双肩にかかっていると云えます。

本大会においては、今後の学校経営の基盤・指針とも言うべき全日中教育ビジョン「学校からの教育改革」を踏まえ、8つの分科会において研究主題に迫る具体的な方策を究明しながら、全国からの提案や実践に基づく研究成果の共有や今後取り組むべき課題の共通認識を持つことは、きわめて意義深いものと考えます。本大会を通して、全国の中学校長の英知と創意を結集し、我が国中学校教育の一層の充実発展を期したいと考えております。

さて、埼玉県は、関東地方の中央部から西部に位置する内陸県で、首都東京に隣接し、交通の利便性に優れ多種多様な産業が集積する一方、秩父山系を源とする母なる川、荒川や板東太郎の異名を持つ利根川、そして、武蔵野の雑木林や見沼たんぼなど、豊かな自然環境に恵まれています。また、国宝「金錯銘鉄剣」の出土で有名な行田市の埼玉（さきたま）古墳群や日本三大曳山祭の一つに数えられる秩父夜祭りに代表されるように、古代から歴史や文化が育まれてきた県でもあります。そして、本県は、本年、明治4年11月14日の誕生から、ちょうど140年になります。「彩の国」の愛称は、埼玉の彩り豊かな魅力を象徴した言葉であり、多彩な魅力と大きな発展の可能性を持った本県の歴史や風土、自然、そして、人情や味覚にふれていただければ幸いです。

おわりに、東日本大震災により被災された東北三県などからも熱意を持ってご参加いただきましたこと及び文部科学省をはじめ多くの関係機関、関係各位のご支援・ご協力を賜りまして本大会を迎えることができましたことを衷心より感謝申し上げます、あいさつといたします。